

■外部評価事前質問シート(7月11日(火)開催分)

No	施策番号	委員名	質問事項 (不明な点・確認しておきたい点 など)	回答
1	施策19	中山委員	高齢者地域包括ケア計画を見ると、計画推進会議を定期的 に開催し計画の進捗状況の評価、点検を行うこと、計画の 達成状況について各種設定指標を基にし評価を行い評価 結果を区役所の情報公開コーナーなどで公開することが書 かれています。計画推進会議における評価・改善点など (PDCAサイクルのCA)がわかるもの、直近の計画の達成状 況の評価結果をお願いします。 直近の計画の達成状況の評価結果については、情報公開 コーナーなどに公開されているものがあれば、そのまま送っ てください。	添付資料01(P.2、P.35、P.48)、添付資料02(P.2、P.35、P.46、P.47)のとおり。 「江東区高齢者地域包括ケア計画」において、全体指標と個別指標を設定し、計画の進捗状況 を把握している。また、施策の取り組みにおける事業の進捗状況を半期ごとに確認している。
2	施策19	今村委員	「取組方針1」にある「地域活動や就労をしている高齢者の 割合」の実数(子数/母数)がわからないので教えてください(令和元年度～令和4年度)。	「江東区長期計画区民アンケート調査(令和元年度～令和4年度)」の間26において、ボラン ティアなどの地域活動や就労を行っている65歳以上の方の割合を取得している。 母数は、回答者のうち65歳以上の方の人数であり、子数は、「就労している」、「地域活動をして いる」、「就労も地域活動もしている」のいずれかで回答した人数である。 ・令和元年度 146/435 33.6%(令和元年度区民アンケート調査報告書P.18参照) ・令和2年度 157/464 33.8%(令和2年度区民アンケート調査報告書P.16参照) ・令和3年度 127/419 30.3%(令和3年度区民アンケート調査報告書P.16参照) ・令和4年度 126/430 29.3%(令和4年度区民アンケート調査報告書P.16参照)
3	施策19	今村委員	「取組方針2」にある地域包括支援センターの「新たな認知 度向上の取り組み」の具体的な内容は何か。	区報掲載、地域包括支援センター活動時に周知啓発ノベルティ、熱中症訪問チラシ、リーフ レットやポスターなどを活用して認知度向上に取り組んでいる。現在、高齢者だけでなく、幅広い 層に対する広報及び周知のために認知度向上に関する具体的な取り組みを検討している。
4	施策19	今村委員	「取組方針3」にある都有地活用による特養の整備などはよ い取り組みであると思うが、そのためには公有地の活用と、 そのベースとなるまちづくり方針や地区計画の策定なども必 要になってくる場合もある。こうした取り組みを今後拡大して いく計画はあるか。あれば紹介願いたい。	現時点で具体的にお示しできる案件はないが、これまでも都における創出用地などの公有地 については、照会の都度、可能な限りの積極的な活用を図ってきたところであり、今後も適切に 対応していきたいと考えている。

No	施策番号	委員名	質問事項 (不明な点・確認しておきたい点 など)	回答
5	施策20	中山委員	障害福祉計画・障害児福祉計画を見ると、原則として1年に1回、計画の中間評価として分析、評価を行うと書かれています。実績報告は、区HP江東区障害者計画等推進協議会の会議資料だと思いますが、分析・評価(PDCAサイクルのCA)した資料を送ってください。 会議資料を見ましたが、障害者福祉計画の1令和5年度の目標値の設定と目標達成に向けた施策の推進、に書かれている目標値の3年度実績は含まれているのでしょうか？見つけられなかったため、実績を教えてくださいたいと思います。(資料が多いのでどこかに書かれていましたらページを教えてください)	Q1.分析・評価について → A1. 資料は作成していないが、毎年第1回協議会における実績報告の中で、課題や実績に変動があった事業等について、背景等の分析や評価を報告している。  Q2.障害者福祉計画の1令和5年度の目標値の設定と目標達成に向けた施策の推進、に書かれている目標値の3年度実績は含まれているのでしょうか？ → A2. 添付資料03(令和3年度の実績がまとめられた資料)のとおり。
6	施策20	中山委員	保育園・学童や特別養護老人ホームのように、障害者施設やグループホームに入りたくても入れない待機者はいるのでしょうか？いるのであれば、5年ぐらいの推移を教えてください。	区で把握している直近5年間の障害者入所施設入所希望者数は、H31:59名、R2:60名、R3:64名、R4:64名、R5:46名(各年4月1日時点)となっている。ただし、障害者入所施設は、保育園や特別養護老人ホームのように区に入所を申し込む施設ではないため、区に相談なく入所希望している方の把握は困難な状況である。 潜在的な待機者を示す参考として、令和5年4月に開設した「Up to You塩浜Living」では、定員45名に対して130名を超える申し込みがあった。また、グループホームに関しては、区外のグループホームに入所している方が約260名おり、そのうち約170名は都外グループホームに入所している。
7	施策20	中山委員	取組方針1成果と課題に「障害者への理解促進は概ね順調に達成できている」とありますが、これは何か数字に裏付けられたもののでしょうか？根拠を教えてください。	令和2年度より障害者への理解促進を目的として、以下の取り組みを行っている。理解促進を数値化した根拠はないが、各種取り組みの結果、区民から得られる反応等を通じて、順調に理解は広がっていると考えている。 ・令和2年度:こうとう区報コラム掲載(隔月)、区条例施行・周知、区条例の普及啓発動画公表 ・令和3年度:こうとう区報コラム掲載(隔月)、小学5年生向け障害理解パンフレット配布、区条例リーフレット配布、江東図書館における障害者週間コーナー展示 ・令和4年度:こうとう区報コラム掲載(隔月)、小学5年生向け障害理解パンフレット(デジタル版)配布、区立図書館7館における障害者週間コーナー展示
8	施策20	今村委員	「取組方針1」にある「一般就労者」は累計でしょうか。それとも年度ごとの数でしょうか。また、目標値はなぜ998なのでしょうか。	累計である。目標値を998人とした理由は、平成26年度から平成30年度までの平均就職者数63人が、令和6年度まで続くと仮定したことによる。
9	施策20	今村委員	「取組方針2」にあるグループホーム定員数の目標値が213とした理由は向でしょうか。また状況としては全国の障がい者数は増加傾向にあるとされているならば、目標値の改定は今後必要にはならないでしょうか。	令和元年度時点の定員数203名に、長期計画上の整備定員数10名を見込み、計画策定時、障害者グループホームの整備達成を目標として示したものである。 しかし、本区においても障害者数が増加傾向にあることや、昨今の障害者を取り巻く環境の変化等を踏まえ、後期計画策定時など、今後、目標値の設定について、検討していきたいと考えている。